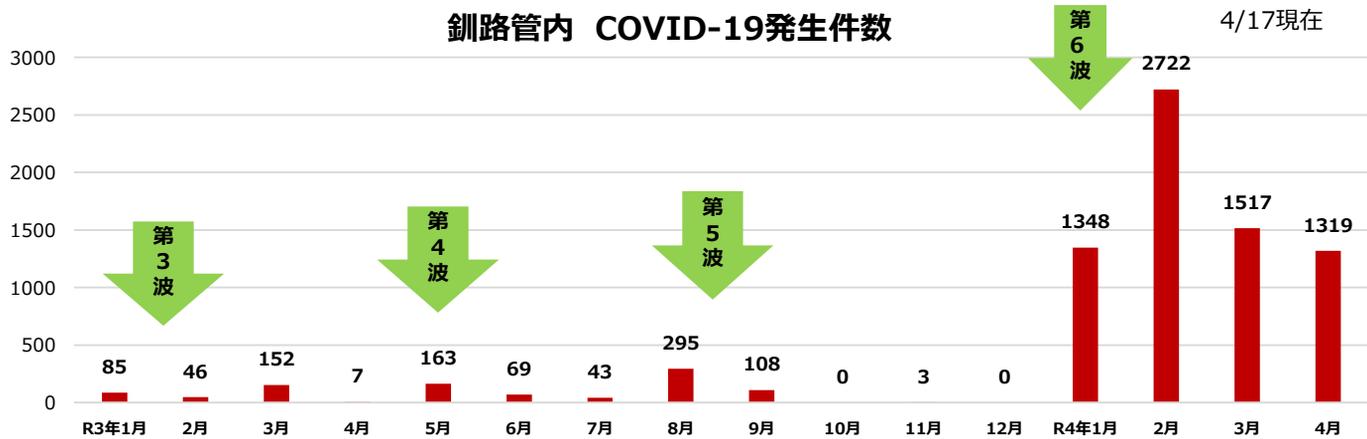


釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況と感染対策について

新年度になりました。季節も春になり、ずいぶん暖かくなりましたがまだ新型コロナウイルス感染症は終息していません。第6波がおさまってきたと思っていましたが、3月末から陽性患者が増加しています。3連休や年度末の移動時期も加わり感染者が増加した可能性が高いとみています。今回も管内の感染状況と感染対策についておさらいしていきます。

釧路管内 COVID-19発生件数



2021年は第3～5波まで人流が増える時期と重なって大きな感染の波がやってきました。ワクチン接種が始まり、感染者の年齢層も高齢者から若い世代へと変化も見られました。また、ワクチン未接種世代の感染拡大もあり家族内感染が多くなりました。釧路管内では2022年1月大きなクラスターを契機にこれまでにないほどの感染者が発生。オミクロン株の感染力の怖さを痛感しました。3回目のワクチン接種を終了していてもブレークスルー感染も多数出ています。3月に入り、釧路管内の感染者数も減少し、3月中旬には30人以下の公表の日もありました。しかし、3月末から1日の感染者の公表数が80人以上の日も出ています。家族内感染や10歳以下の感染も増加しているように思います。第7波が始まっていると考えられます。

感染対策のおさらい

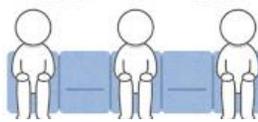
飛沫・接触感染対策の徹底

マスクをしっかり鼻まで覆いましょう。
顎まで下げるのもやめましょう。マスクを外した際にはティッシュやマスクケースに入れてあちこちに置かないようにしましょう。



ソーシャルディスタンス

ヒトとの距離をとりましょう。



換気

食事の場面などマスクを外す場面では換気をしましょう。マスクを外さない場合でも定期的な換気をしましょう。



3密を避ける

蔓延防止が解除されても人流増加で感染者も増加することが予想されます。人込みは極力控えましょう。



個々の健康管理

毎日検温、37℃以上あるときは自宅待機し、上司の報告を徹底してください。自分だけでなく、同居家族の健康状態にも注意！



感染リスクが高まる5つの場面

厚労省では大人数の会食やなど5つの場面で注意を呼び掛けています。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

3月の感染者数は2月と比較し1500人強とかなり減少しましたが、過去2番目の多さとなりました。オミクロン株は感染力がこれまでの変異株より強いとされていますがさらに感染力が強いBA-2（ステルスオミクロン）がすでに置き換わっているのではないかとされています。より一層、一人一人が感染対策を徹底することが大切です。検査を受けた方は、結果が出るまでは外出せず、ご自宅で結果をお待ち下さい。症状が続く場合はかかりつけ医や保健所、北海道相談センター等にご相談下さい。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことはお控え下さい。受診の際は必ず、マスクを着用して下さい。当院の受診時は付き添いの方は1名までとさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

